

第499回大学院セミナー

共催：ウェルビーイングプロジェクト（若手サイエンスアカデミー企画）

矯正歯科治療におけるMOPの可能性について

渡辺和也 先生

渡辺矯正歯科（東京・吉祥寺）医院長
日本矯正歯科学会指導医
東京歯科大学・日本歯科大学・慶應義塾大学
・長崎大学 非常勤講師



2024年2月8日（木）18:00～19:00

本館13階第2講義室

2013年にAlikhaniらは、Micro-osteoperforation (MOP)を行うことにより、歯科矯正治療における歯の移動効率が劇的に上昇することを報告し、世界を驚かせた。以前より矯正歯科医は、外科的矯正治療中に外科的侵襲後における歯の移動量が目に視えて大きいことを臨床的に経験している。骨に生じるマイクロクラックがリモデリングが起きるトリガーの一つであるという仮説は以前より多くの支持を集めていることから、歯槽骨に穿孔を行なうMOPによる歯の移動効率向上は、穿孔部周囲の骨にマイクロクラックを効率的に生じさせ、それが骨リモデリングの活性化につながっている可能性が大いにあると考えているが、MOPの詳細な機序は未だ明らかになっておらず、否定的な報告も散見される。

今回の大学院セミナーでは、演者がこれまで行ってきた矯正歯科臨床におけるMOPの効果と歯の移動効率向上の関連性について、現在までに分かっていること、そして今後解明が期待されることについて臨床例を交えながら情報共有することで、今後の研究展開に繋がるような意見交換をさせていただけたら幸いと考えている。

略歴

- 1986年 東京歯科大学 歯学部卒業
- 1991年 東京歯科大学大学院 歯学研究科修了(歯科矯正学) [博士 (歯学)]
- 1992年 日本矯正歯科学会認定医
- 1998年 渡辺矯正歯科（東京・吉祥寺）開設 日本矯正歯科学会指導医
- 1998年～ 東京歯科大学非常勤講師（歯科矯正学講座）
- 2000年 The Edward H. Angle Society of Orthodontists (Regular member)
- 2006年 日本矯正歯科学会臨床指導医
- 2011年～ 慶應義塾大学 医学部非常勤講師（歯科・口腔外科学講座）
- 2022年 長崎大学歯学部非常勤講師